

ダイワ・オーストラリア 高配当株α（毎月分配型）

株式αコース

通貨αコース

株式&通貨ツインαコース

運用報告書（全体版）

第96期（決算日 2021年2月17日）

第97期（決算日 2021年3月17日）

第98期（決算日 2021年4月19日）

第99期（決算日 2021年5月17日）

第100期（決算日 2021年6月17日）

第101期（決算日 2021年7月19日）

（作成対象期間 2021年1月19日～2021年7月19日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約10年間（2013年1月23日～2023年1月17日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	株式αコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨αコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	株式&通貨ツインαコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、予想配当利回りの高いオーストラリア株式へ投資するとともに、オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5747>

<5748>

<5749>

株式αコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P / A S X 200 指数 (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
72 期末(2019年 2月18日)	円 4,614	円 60	% 2.5	10,714	% 5.2	% -	% 95.4	百万円 260
73 期末(2019年 3月18日)	4,654	60	2.2	10,913	1.9	-	98.4	261
74 期末(2019年 4月17日)	4,720	60	2.7	11,269	3.3	-	98.4	262
75 期末(2019年 5月17日)	4,437	60	△ 4.7	10,714	△ 4.9	-	98.4	246
76 期末(2019年 6月17日)	4,366	60	△ 0.2	10,946	2.2	-	98.4	243
77 期末(2019年 7月17日)	4,407	60	2.3	11,281	3.1	-	98.4	244
78 期末(2019年 8月19日)	4,009	60	△ 7.7	10,328	△ 8.4	-	98.4	205
79 期末(2019年 9月17日)	4,260	60	7.8	11,074	7.2	-	98.5	219
80 期末(2019年10月17日)	4,140	60	△ 1.4	11,112	0.3	-	98.3	208
81 期末(2019年11月18日)	4,186	40	2.1	11,266	1.4	-	98.2	211
82 期末(2019年12月17日)	4,244	40	2.3	11,527	2.3	-	98.3	210
83 期末(2020年 1月17日)	4,284	40	1.9	11,973	3.9	-	98.3	194
84 期末(2020年 2月17日)	4,095	40	△ 3.5	11,749	△ 1.9	-	99.0	186
85 期末(2020年 3月17日)	2,570	40	△36.3	7,275	△38.1	-	98.2	116
86 期末(2020年 4月17日)	2,698	40	6.5	8,319	14.4	-	98.0	122
87 期末(2020年 5月18日)	2,703	40	1.7	8,320	0.0	-	98.4	123
88 期末(2020年 6月17日)	3,079	40	15.4	9,807	17.9	-	97.7	142
89 期末(2020年 7月17日)	3,163	40	4.0	10,060	2.6	-	98.3	144
90 期末(2020年 8月17日)	3,233	40	3.5	10,483	4.2	-	98.7	147
91 期末(2020年 9月17日)	3,177	40	△ 0.5	10,171	△ 3.0	-	99.2	138
92 期末(2020年10月19日)	3,125	40	△ 0.4	10,327	1.5	-	97.8	135
93 期末(2020年11月17日)	3,246	40	5.2	11,084	7.3	-	98.3	140
94 期末(2020年12月17日)	3,358	40	4.7	11,695	5.5	-	99.5	139
95 期末(2021年 1月18日)	3,434	40	3.5	11,985	2.5	-	98.3	143
96 期末(2021年 2月17日)	3,557	40	4.7	12,699	6.0	-	98.0	141
97 期末(2021年 3月17日)	3,616	40	2.8	12,879	1.4	-	99.2	143
98 期末(2021年 4月19日)	3,682	40	2.9	13,236	2.8	-	98.2	146
99 期末(2021年 5月17日)	3,697	40	1.5	13,318	0.6	-	98.2	145
100 期末(2021年 6月17日)	3,735	40	2.1	13,918	4.5	-	98.3	146
101 期末(2021年 7月19日)	3,604	40	△ 2.4	13,302	△ 4.4	-	98.4	140

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

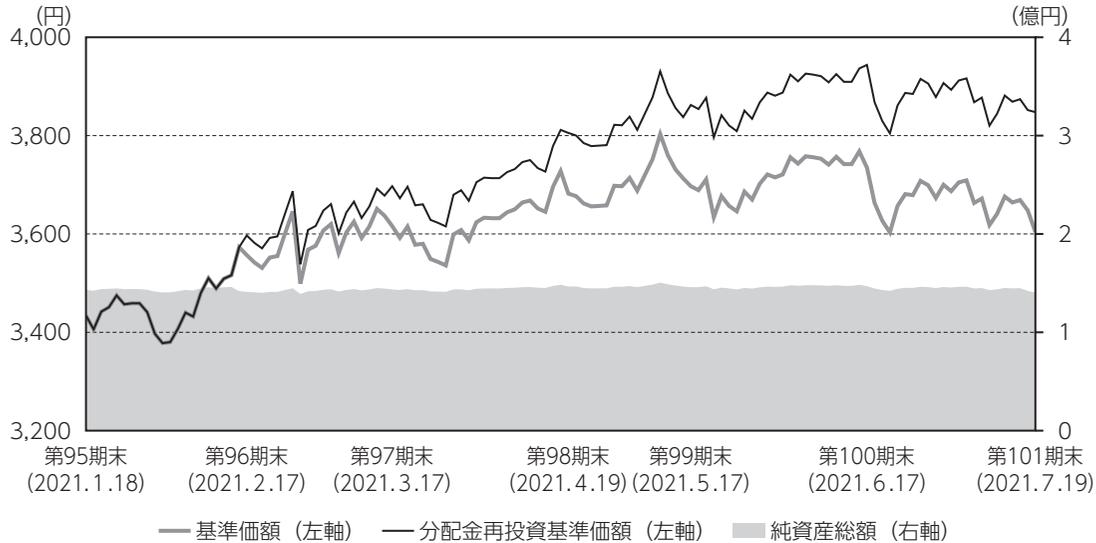
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第96期首：3,434円

第101期末：3,604円（既払分配金240円）

騰落率：12.0%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

主にオーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）に投資した結果、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）の上昇がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）については、オーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、株価が上昇したことや豪ドルが対円で上昇（円安）したことがプラスに働き、上昇しました。株式オプション取引については、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）

ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型） 株式αコース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (円換算)		公 社 債 組 入 比 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	%	(参考指数)	騰 落 率		
第 96 期	(期首)2021年 1月18日	3,434	—	11,985	—	—	98.3
	1月末	3,397	△1.1	11,901	△0.7	—	98.4
	(期末)2021年 2月17日	3,597	4.7	12,699	6.0	—	98.0
第 97 期	(期首)2021年 2月17日	3,557	—	12,699	—	—	98.0
	2月末	3,646	2.5	12,724	0.2	—	98.1
	(期末)2021年 3月17日	3,656	2.8	12,879	1.4	—	99.2
第 98 期	(期首)2021年 3月17日	3,616	—	12,879	—	—	99.2
	3月末	3,587	△0.8	12,704	△1.4	—	99.0
	(期末)2021年 4月19日	3,722	2.9	13,236	2.8	—	98.2
第 99 期	(期首)2021年 4月19日	3,682	—	13,236	—	—	98.2
	4月末	3,714	0.9	13,414	1.3	—	98.8
	(期末)2021年 5月17日	3,737	1.5	13,318	0.6	—	98.2
第100期	(期首)2021年 5月17日	3,697	—	13,318	—	—	98.2
	5月末	3,721	0.6	13,571	1.9	—	98.5
	(期末)2021年 6月17日	3,775	2.1	13,918	4.5	—	98.3
第101期	(期首)2021年 6月17日	3,735	—	13,918	—	—	98.3
	6月末	3,673	△1.7	13,563	△2.6	—	98.0
	(期末)2021年 7月19日	3,644	△2.4	13,302	△4.4	—	98.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2021.1.19~2021.7.19)

■オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は上昇しました。

オーストラリア株式市況は、当作成期首から2021年5月上旬にかけて、米国における大規模な経済対策の発表や新型コロナウイルスのワクチン接種拡大を受けて世界景気の回復期待が高まったことなどを背景に、堅調に推移しました。5月中旬に入ると、世界的なインフレへの警戒感やアジア地域でのウイルスの感染再拡大などを受けていったんは弱含みましたが、オーストラリアの市場予想を上回る経済指標の発表や原油価格の上昇などが好感され、再び上昇基調となりました。

■為替相場

豪ドルは対円で上昇しました。

豪ドル対円為替相場は、当作成期首から2021年3月上旬にかけて、米国における追加経済対策や、新型コロナウイルスワクチンの普及によって世界経済の正常化期待が高まったことなどから、市場のリスク選好姿勢が強まり円安豪ドル高が進みました。その後も、為替市場では米ドル安および円安基調が続きましたが、6月に入ると米国における早期利上げ観測の高まりを背景に相場の基調が反転し、米ドル高および円高となるとともに豪ドル安となりました。当作成期末にかけては、オーストラリア国内におけるウイルス感染者数の増加などが嫌気され、下落（円高）しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤をもつ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2021.1.19~2021.7.19)

■当ファンド

オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）への投資割合を高位に維持しました。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしました。

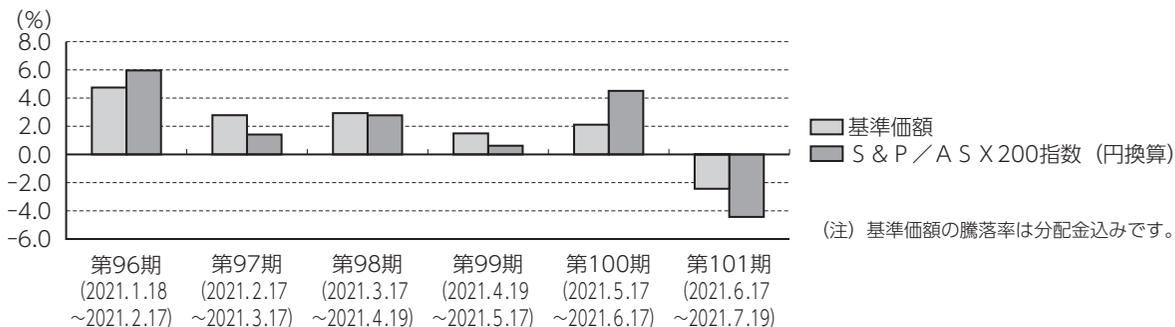
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しています。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
	2021年1月19日 ～2021年2月17日	2021年2月18日 ～2021年3月17日	2021年3月18日 ～2021年4月19日	2021年4月20日 ～2021年5月17日	2021年5月18日 ～2021年6月17日	2021年6月18日 ～2021年7月19日
当期分配金（税込み）（円）	40	40	40	40	40	40
対基準価額比率（%）	1.11	1.09	1.07	1.07	1.06	1.10
当期の収益（円）	37	39	40	40	40	37
当期の収益以外（円）	2	0	—	—	—	2
翌期繰越分配対象額（円）	420	419	419	419	420	418

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 37.98円	✓ 39.27円	✓ 40.25円	✓ 40.00円	✓ 40.48円	✓ 37.77円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 422.29	✓ 420.29	419.56	419.57	419.58	✓ 419.59
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.25	0.26	✓ 0.75
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	460.28	459.56	459.82	459.84	460.33	458.12
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	420.28	419.56	419.82	419.84	420.33	418.12

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（株式 α クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（株式 α クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株 α ・ファンド（株式 α クラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤をもつ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第96期～第101期 (2021.1.19～2021.7.19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	24円	0.673%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は3,627円です。
（投 信 会 社）	(8)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(16)	(0.438)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	25	0.676	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

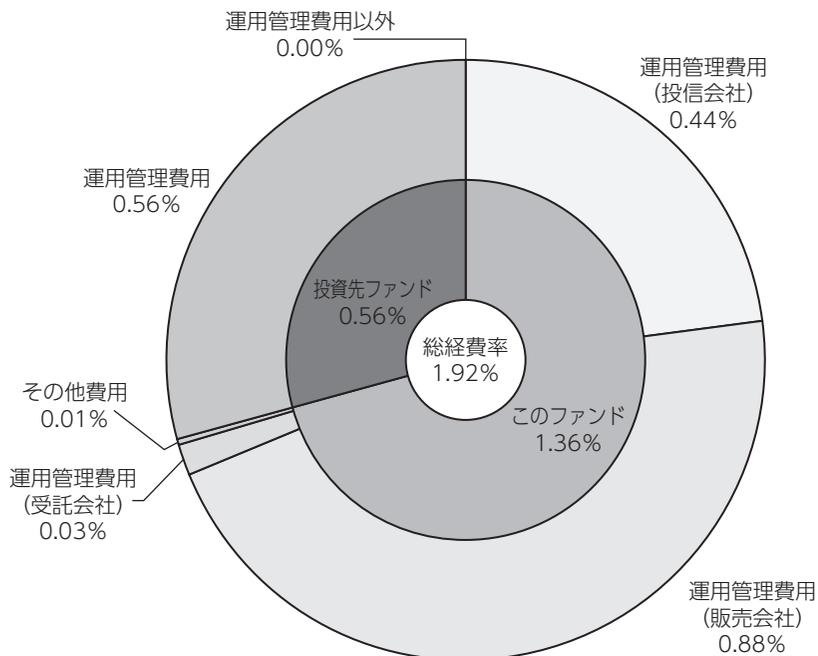
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直前の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.92%です。



総経費率 (①+②+③)	1.92%
①このファンドの費用の比率	1.36%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.56%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2021年1月19日から2021年7月19日まで)

決算期	第 96 期 ~ 第 101 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
外国（邦貨建）	248,85159	9,942	501.02935	19,939

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2021年1月19日から2021年7月19日まで)

第 96 期				~	第 101 期				
買 付				売 付					
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価		
	千□	千円	円		千□	千円	円		
				AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (EQUITY ALPHA CLASS) (ケイマン諸島)	501.02935	19,939	39		

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファ ン ド 名	第 101 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (EQUITY ALPHA CLASS)	千□ 3,448,14764	千円 138,039	% 98.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 101 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千□ 98	千□ 98	千円 99

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年7月19日現在

項 目	第 101 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 138,039	% 95.8
ダイワ・マネー・マザーファンド	99	0.1
コール・ローン等、その他	5,913	4.1
投資信託財産総額	144,053	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年2月17日)、(2021年3月17日)、(2021年4月19日)、(2021年5月17日)、(2021年6月17日)、(2021年7月19日)現在

項目	第96期末	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末	第101期末
(A) 資産	156,490,841円	145,313,104円	148,343,342円	148,052,541円	148,705,144円	147,043,974円
コール・ローン等	4,048,197	2,755,602	4,372,046	4,731,138	4,168,998	2,922,546
投資信託受益証券(評価額)	138,385,000	142,457,630	143,871,434	143,221,541	144,436,294	138,039,694
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	99,872	99,872	99,862	99,862	99,852	99,852
未収入金	13,957,772	—	—	—	—	5,981,882
(B) 負債	15,262,087	1,738,295	1,823,495	2,173,340	1,747,078	6,702,972
未払金	6,978,886	—	—	—	—	2,990,941
未払収益分配金	1,588,297	1,588,406	1,591,813	1,578,218	1,573,930	1,557,640
未払解約金	6,534,345	108	52,190	439,158	74	1,977,089
未払信託報酬	159,603	147,939	176,592	152,147	168,247	171,446
その他未払費用	956	1,842	2,900	3,817	4,827	5,856
(C) 純資産総額(A-B)	141,228,754	143,574,809	146,519,847	145,879,201	146,958,066	140,341,002
元本	397,074,403	397,101,656	397,953,335	394,554,524	393,482,651	389,410,187
次期繰越損益金	△255,845,649	△253,526,847	△251,433,488	△248,675,323	△246,524,585	△249,069,185
(D) 受益権総口数	397,074,403口	397,101,656口	397,953,335口	394,554,524口	393,482,651口	389,410,187口
1万円当り基準価額(C/D)	3,557円	3,616円	3,682円	3,697円	3,735円	3,604円

*第95期末における元本額は416,725,718円、当作成期間(第96期~第101期)中における追加設定元本額は8,936,412円、同解約元本額は36,251,943円です。

*第101期末の計算口数当りの純資産額は3,604円です。

*第101期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は249,069,185円です。

■損益の状況

第96期 自2021年1月19日 至2021年2月17日 第99期 自2021年4月20日 至2021年5月17日
 第97期 自2021年2月18日 至2021年3月17日 第100期 自2021年5月18日 至2021年6月17日
 第98期 自2021年3月18日 至2021年4月19日 第101期 自2021年6月18日 至2021年7月19日

項目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(A) 配当等収益	1,545,844円	1,618,663円	1,669,416円	1,688,930円	1,681,550円	1,643,650円
受取配当金	1,545,862	1,618,704	1,669,420	1,688,934	1,681,593	1,643,729
支払利息	△ 18	△ 41	△ 4	△ 4	△ 43	△ 79
(B) 有価証券売買損益	5,089,582	2,454,682	2,737,292	652,894	1,536,547	△ 5,007,359
売買益	5,157,402	2,453,500	2,736,429	649,261	1,537,345	56,502
売買損	△ 67,820	1,182	863	3,633	△ 798	△ 5,063,861
(C) 信託報酬等	△ 160,559	△ 148,825	△ 177,650	△ 153,065	△ 169,257	△ 172,475
(D) 当期損益金(A+B+C)	6,474,867	3,924,520	4,229,058	2,188,759	3,048,840	△ 3,536,184
(E) 前期繰越損益金	△145,429,175	△140,008,479	△137,222,494	△133,076,479	△131,742,642	△128,454,674
(F) 追加信託差損益金	△115,303,044	△115,854,482	△116,848,239	△116,209,385	△116,256,853	△115,520,687
(配当等相当額)	(16,768,354)	(16,689,833)	(16,696,878)	(16,554,534)	(16,509,763)	(16,339,275)
(売買損益相当額)	(△132,071,398)	(△132,544,315)	(△133,545,117)	(△132,763,919)	(△132,766,616)	(△131,859,962)
(G) 合計(D+E+F)	△254,257,352	△251,938,441	△249,841,675	△247,097,105	△244,950,655	△247,511,545
(H) 収益分配金	△ 1,588,297	△ 1,588,406	△ 1,591,813	△ 1,578,218	△ 1,573,930	△ 1,557,640
次期繰越損益金(G+H)	△255,845,649	△253,526,847	△251,433,488	△248,675,323	△246,524,585	△249,069,185
追加信託差損益金	△115,382,907	△115,883,368	△116,848,239	△116,209,385	△116,256,853	△115,577,924
(配当等相当額)	(16,688,491)	(16,660,947)	(16,696,878)	(16,554,534)	(16,509,763)	(16,282,038)
(売買損益相当額)	(△132,071,398)	(△132,544,315)	(△133,545,117)	(△132,763,919)	(△132,766,616)	(△131,859,962)
分配準備立金	—	—	10,309	10,516	29,640	—
繰越損益金	△140,462,742	△137,643,479	△134,595,558	△132,476,454	△130,297,372	△133,491,261

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 96 期	第 97 期	第 98 期	第 99 期	第 100 期	第 101 期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,508,434円	1,559,520円	1,602,122円	1,578,540円	1,593,111円	1,471,175円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	16,768,354	16,689,833	16,696,878	16,554,534	16,509,763	16,339,275
(d) 分配準備積立金	0	0	0	10,194	10,459	29,228
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	18,276,788	18,249,353	18,299,000	18,143,268	18,113,333	17,839,678
(f) 分配金	1,588,297	1,588,406	1,591,813	1,578,218	1,573,930	1,557,640
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	16,688,491	16,660,947	16,707,187	16,565,050	16,539,403	16,282,038
(h) 受益権総口数	397,074,403口	397,101,656口	397,953,335口	394,554,524口	393,482,651口	389,410,187口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 96 期	第 97 期	第 98 期	第 99 期	第 100 期	第 101 期
1 万 口 当 り 分 配 金	40円	40円	40円	40円	40円	40円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

通貨αコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S&P/A S X 200 指数 (円換算)		豪ドル為替レート		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税金 込み 分配金	期 騰 落率	(参考指数)	期 騰 落率	(参考指数)	期 騰 落率			
72 期末(2019年 2月18日)	円 6,033	円 90	% 3.5	10,714	% 5.2	円 79.03	% 1.2	% -	% 99.1	百万円 857
73 期末(2019年 3月18日)	6,196	90	4.2	10,913	1.9	79.08	0.1	-	98.1	960
74 期末(2019年 4月17日)	6,230	90	2.0	11,269	3.3	80.33	1.6	-	98.4	991
75 期末(2019年 5月17日)	5,999	90	△ 2.3	10,714	△ 4.9	75.76	△ 5.7	-	98.4	943
76 期末(2019年 6月17日)	6,044	90	2.3	10,946	2.2	74.73	△ 1.4	-	98.4	904
77 期末(2019年 7月17日)	6,071	90	1.9	11,281	3.1	76.01	1.7	-	98.3	987
78 期末(2019年 8月19日)	5,578	90	△ 6.6	10,328	△ 8.4	72.15	△ 5.1	-	98.4	931
79 期末(2019年 9月17日)	5,947	90	8.2	11,074	7.2	74.25	2.9	-	98.4	1,007
80 期末(2019年10月17日)	5,831	90	△ 0.4	11,112	0.3	73.81	△ 0.6	-	99.2	996
81 期末(2019年11月18日)	5,901	60	2.2	11,266	1.4	74.20	0.5	-	98.4	980
82 期末(2019年12月17日)	5,970	60	2.2	11,527	2.3	75.30	1.5	-	98.4	952
83 期末(2020年 1月17日)	6,046	60	2.3	11,973	3.9	76.08	1.0	-	98.4	923
84 期末(2020年 2月17日)	5,918	60	△ 1.1	11,749	△ 1.9	73.73	△ 3.1	-	98.1	899
85 期末(2020年 3月17日)	3,641	60	△37.5	7,275	△38.1	65.08	△11.7	-	98.0	555
86 期末(2020年 4月17日)	3,850	60	7.4	8,319	14.4	68.73	5.6	-	98.0	540
87 期末(2020年 5月18日)	3,843	60	1.4	8,320	0.0	68.88	0.2	-	98.4	541
88 期末(2020年 6月17日)	4,302	60	13.5	9,807	17.9	73.85	7.2	-	97.8	605
89 期末(2020年 7月17日)	4,413	60	4.0	10,060	2.6	74.89	1.4	-	98.5	624
90 期末(2020年 8月17日)	4,537	60	4.2	10,483	4.2	76.57	2.2	-	98.5	641
91 期末(2020年 9月17日)	4,425	60	△ 1.1	10,171	△ 3.0	76.41	△ 0.2	-	98.4	599
92 期末(2020年10月19日)	4,393	60	0.6	10,327	1.5	74.81	△ 2.1	-	99.1	577
93 期末(2020年11月17日)	4,569	60	5.4	11,084	7.3	76.49	2.2	-	98.6	578
94 期末(2020年12月17日)	4,795	60	6.3	11,695	5.5	78.35	2.4	-	98.4	594
95 期末(2021年 1月18日)	4,905	60	3.5	11,985	2.5	79.86	1.9	-	98.5	589
96 期末(2021年 2月17日)	5,046	60	4.1	12,699	6.0	82.15	2.9	-	98.6	564
97 期末(2021年 3月17日)	5,060	60	1.5	12,879	1.4	84.41	2.8	-	98.5	532
98 期末(2021年 4月19日)	5,189	60	3.7	13,236	2.8	83.85	△ 0.7	-	98.5	541
99 期末(2021年 5月17日)	5,200	60	1.4	13,318	0.6	84.96	1.3	-	98.6	519
100 期末(2021年 6月17日)	5,342	60	3.9	13,918	4.5	84.32	△ 0.8	-	98.4	505
101 期末(2021年 7月19日)	5,183	60	△ 1.9	13,302	△ 4.4	81.00	△ 3.9	-	98.3	490

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第 96 期首：4,905円

第101期末：5,183円（既払分配金360円）

騰 落 率：13.2%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

主にオーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）に投資した結果、オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）の上昇がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）については、オーストラリア株式への投資と通貨オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、株価が上昇したことや豪ドルが対円で上昇（円安）したことがプラスに働き、上昇しました。通貨オプション取引の影響は軽微でした。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）

ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A	S X 200	豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	騰 落 率	指 数 (参考指数)	(円 換 算) 騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第 96 期	(期首)2021年1月18日	円 4,905	% -	11,985	% -	円 79.86	% -	% -	% 98.5
	1月末	4,834	△1.4	11,901	△0.7	80.08	0.3	-	99.1
	(期末)2021年2月17日	5,106	4.1	12,699	6.0	82.15	2.9	-	98.6
第 97 期	(期首)2021年2月17日	5,046	-	12,699	-	82.15	-	-	98.6
	2月末	5,074	0.6	12,724	0.2	83.31	1.4	-	98.9
	(期末)2021年3月17日	5,120	1.5	12,879	1.4	84.41	2.8	-	98.5
第 98 期	(期首)2021年3月17日	5,060	-	12,879	-	84.41	-	-	98.5
	3月末	5,014	△0.9	12,704	△1.4	84.36	△0.1	-	98.4
	(期末)2021年4月19日	5,249	3.7	13,236	2.8	83.85	△0.7	-	98.5
第 99 期	(期首)2021年4月19日	5,189	-	13,236	-	83.85	-	-	98.5
	4月末	5,223	0.7	13,414	1.3	84.75	1.1	-	98.5
	(期末)2021年5月17日	5,260	1.4	13,318	0.6	84.96	1.3	-	98.6
第100期	(期首)2021年5月17日	5,200	-	13,318	-	84.96	-	-	98.6
	5月末	5,279	1.5	13,571	1.9	84.58	△0.4	-	98.4
	(期末)2021年6月17日	5,402	3.9	13,918	4.5	84.32	△0.8	-	98.4
第101期	(期首)2021年6月17日	5,342	-	13,918	-	84.32	-	-	98.4
	6月末	5,262	△1.5	13,563	△2.6	83.12	△1.4	-	98.3
	(期末)2021年7月19日	5,243	△1.9	13,302	△4.4	81.00	△3.9	-	98.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2021.1.19~2021.7.19)

■オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は上昇しました。

オーストラリア株式市況は、当作成期首から2021年5月上旬にかけて、米国における大規模な経済対策の発表や新型コロナウイルスのワクチン接種拡大を受けて世界景気の回復期待が高まったことなどを背景に、堅調に推移しました。5月中旬に入ると、世界的なインフレへの警戒感やアジア地域でのウイルスの感染再拡大などを受けていったんは弱含みましたが、オーストラリアの市場予想を上回る経済指標の発表や原油価格の上昇などが好感され、再び上昇基調となりました。

■為替相場

豪ドルは対円で上昇しました。

豪ドル対円為替相場は、当作成期首から2021年3月上旬にかけて、米国における追加経済対策や、新型コロナウイルスワクチンの普及によって世界経済の正常化期待が高まったことなどから、市場のリスク選好姿勢が強まり円安豪ドル高が進みました。その後も、為替市場では米ドル安および円安基調が続きましたが、6月に入ると米国における早期利上げ観測の高まりを背景に相場の基調が反転し、米ドル高および円高となるとともに豪ドル安となりました。当作成期末にかけては、オーストラリア国内におけるウイルス感染者数の増加などが嫌気され、下落（円高）しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と通貨オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤をもつ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2021.1.19~2021.7.19)

■当ファンド

オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）への投資割合を高位に維持しました。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と通貨オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしました。

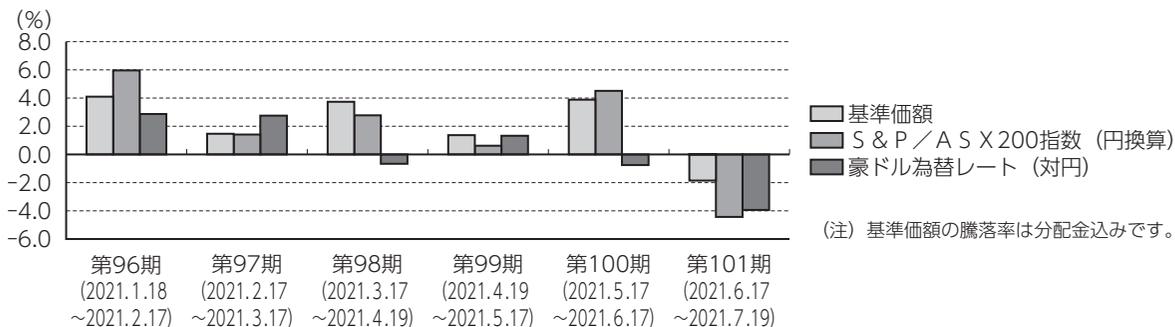
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しています。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
	2021年1月19日 ～2021年2月17日	2021年2月18日 ～2021年3月17日	2021年3月18日 ～2021年4月19日	2021年4月20日 ～2021年5月17日	2021年5月18日 ～2021年6月17日	2021年6月18日 ～2021年7月19日
当期分配金（税込み）（円）	60	60	60	60	60	60
対基準価額比率（%）	1.18	1.17	1.14	1.14	1.11	1.14
当期の収益（円）	54	54	56	55	59	54
当期の収益以外（円）	5	5	3	4	0	5
翌期繰越分配対象額（円）	828	822	819	815	814	808

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 54.14円	✓ 54.21円	✓ 56.59円	✓ 55.70円	✓ 59.09円	✓ 54.21円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 834.41	✓ 828.58	✓ 822.80	✓ 819.40	✓ 815.11	✓ 814.20
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	888.56	882.80	879.40	875.10	874.20	868.42
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	828.56	822.80	819.40	815.10	814.20	808.42

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（通貨 α クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（通貨 α クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株 α ・ファンド（通貨 α クラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と通貨オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤をもつ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第96期～第101期 (2021.1.19～2021.7.19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	35円	0.673%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は5,136円です。
(投 信 会 社)	(11)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(23)	(0.438)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	35	0.677	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

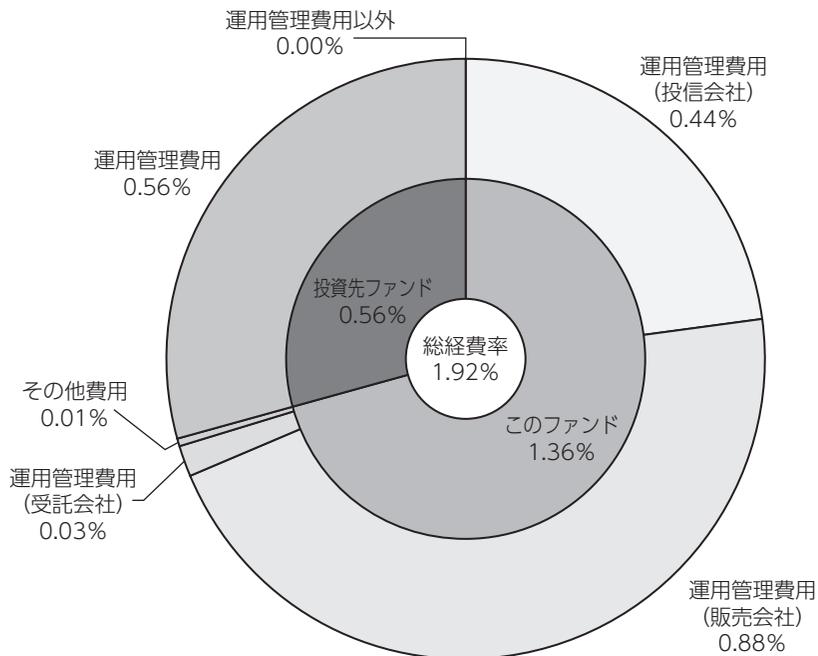
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.92%です。



総経費率 (①+②+③)	1.92%
①このファンドの費用の比率	1.36%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.56%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2021年1月19日から2021年7月19日まで)

決算期	第 96 期 ~ 第 101 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
外国（邦貨建）	682.97362	36,833	3,166.95913	169,488

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2021年1月19日から2021年7月19日まで)

第 96 期				~	第 101 期			
買 付		売 付			買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価		銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千□	千円	円			千□	千円	円
					AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (CURRENCY ALPHA CLASS) (ケイマン諸島)	3,166.95913	169,488	53

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 101 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (CURRENCY ALPHA CLASS)	千□ 8,769.56657	千円 482,668	% 98.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 101 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千□ 98	千□ 98	千円 99

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年7月19日現在

項 目	第 101 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 482,668	% 97.1
ダイワ・マネー・マザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	14,335	2.9
投資信託財産総額	497,103	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年2月17日)、(2021年3月17日)、(2021年4月19日)、(2021年5月17日)、(2021年6月17日)、(2021年7月19日)現在

項 目	第 96 期 末	第 97 期 末	第 98 期 末	第 99 期 末	第 100 期 末	第 101 期 末
(A) 資産	592,242,370円	568,125,104円	548,191,276円	526,641,884円	512,024,105円	497,103,167円
コール・ローン等	35,456,661	15,648,713	15,212,791	14,013,198	14,510,122	14,335,141
投資信託受益証券(評価額)	556,685,837	524,460,772	532,878,623	512,528,824	497,414,131	482,668,174
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	99,872	99,872	99,862	99,862	99,852	99,852
未 収 入 金	—	27,915,747	—	—	—	—
(B) 負債	27,779,364	35,413,699	6,923,713	6,711,295	6,279,611	6,293,519
未払金	—	13,957,874	—	—	—	—
未払収益分配金	6,712,389	6,316,665	6,258,941	5,998,982	5,680,393	5,681,510
未払解約金	20,412,399	14,553,474	—	152,630	—	—
未払信託報酬	650,625	578,224	653,335	544,941	580,949	590,157
その他未払費用	3,951	7,462	11,437	14,742	18,269	21,852
(C) 純資産総額(A-B)	564,463,006	532,711,405	541,267,563	519,930,589	505,744,494	490,809,648
元本	1,118,731,521	1,052,777,596	1,043,156,964	999,830,407	946,732,174	946,918,499
次期繰越損益金	△ 554,268,515	△ 520,066,191	△ 501,889,401	△ 479,899,818	△ 440,987,680	△ 456,108,851
(D) 受益権総口数	1,118,731,521口	1,052,777,596口	1,043,156,964口	999,830,407口	946,732,174口	946,918,499口
1万口当り基準価額(C/D)	5,046円	5,060円	5,189円	5,200円	5,342円	5,183円

*第95期末における元本額は1,201,646,466円、当作成期間(第96期~第101期)中における追加設定元本額は13,691,318円、同解約元本額は268,419,285円です。

*第101期末の計算口数当りの純資産額は5,183円です。

*第101期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は456,108,851円です。

■損益の状況

第96期 自2021年1月19日 至2021年2月17日 第99期 自2021年4月20日 至2021年5月17日
 第97期 自2021年2月18日 至2021年3月17日 第100期 自2021年5月18日 至2021年6月17日
 第98期 自2021年3月18日 至2021年4月19日 第101期 自2021年6月18日 至2021年7月19日

項 目	第 96 期	第 97 期	第 98 期	第 99 期	第 100 期	第 101 期
(A) 配当等収益	6,234,871円	6,131,022円	6,101,372円	5,996,715円	5,765,872円	5,727,183円
受取配当金	6,234,968	6,131,174	6,101,483	5,996,801	5,766,037	5,727,449
受取利息	—	—	—	—	1	—
支払利息	△ 97	△ 152	△ 111	△ 86	△ 166	△ 266
(B) 有価証券売買損益	16,823,115	2,292,490	14,238,805	1,694,056	13,925,539	△ 14,485,568
売買益	17,208,447	2,496,176	14,222,587	1,866,646	14,015,796	7,338
売買損	△ 385,332	△ 203,686	△ 16,218	△ 172,590	△ 90,257	△ 14,492,906
(C) 信託報酬等	△ 654,576	△ 581,735	△ 657,310	△ 548,251	△ 584,476	△ 593,740
(D) 当期損益金(A+B+C)	22,403,410	7,841,777	19,682,867	7,142,520	19,106,935	△ 9,352,125
(E) 前期繰越損益金	△ 226,718,514	△ 197,609,370	△ 193,487,412	△ 172,064,086	△ 161,219,981	△ 147,578,443
(F) 追加信託差損益金	△ 343,241,022	△ 323,981,933	△ 321,825,915	△ 308,979,270	△ 293,194,241	△ 293,496,773
(配当等相当額)	(93,348,706)	(87,231,837)	(85,831,492)	(81,926,855)	(77,169,258)	(77,098,976)
(売買損益相当額)	(△436,589,728)	(△411,213,770)	(△407,657,407)	(△390,906,125)	(△370,363,499)	(△370,595,749)
(G) 合計(D+E+F)	△ 547,556,126	△ 513,749,526	△ 495,630,460	△ 473,900,836	△ 435,307,287	△ 450,427,341
(H) 収益分配金	△ 6,712,389	△ 6,316,665	△ 6,258,941	△ 5,998,982	△ 5,680,393	△ 5,681,510
次期繰越損益金(G+H)	△ 554,268,515	△ 520,066,191	△ 501,889,401	△ 479,899,818	△ 440,987,680	△ 456,108,851
追加信託差損益金	△ 343,895,537	△ 324,590,963	△ 322,180,677	△ 309,409,008	△ 293,279,899	△ 294,044,840
(配当等相当額)	(92,694,191)	(86,622,807)	(85,476,730)	(81,497,117)	(77,083,600)	(76,550,909)
(売買損益相当額)	(△436,589,728)	(△411,213,770)	(△407,657,407)	(△390,906,125)	(△370,363,499)	(△370,595,749)
繰越損益金	△ 210,372,978	△ 195,475,228	△ 179,708,724	△ 170,490,810	△ 147,707,781	△ 162,064,011

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 96 期	第 97 期	第 98 期	第 99 期	第 100 期	第 101 期
(a) 経費控除後の配当等収益	6,057,874円	5,707,635円	5,904,179円	5,569,244円	5,594,735円	5,133,443円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	93,348,706	87,231,837	85,831,492	81,926,855	77,169,258	77,098,976
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	99,406,580	92,939,472	91,735,671	87,496,099	82,763,993	82,232,419
(f) 分配金	6,712,389	6,316,665	6,258,941	5,998,982	5,680,393	5,681,510
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	92,694,191	86,622,807	85,476,730	81,497,117	77,083,600	76,550,909
(h) 受益権総口数	1,118,731,521□	1,052,777,596□	1,043,156,964□	999,830,407□	946,732,174□	946,918,499□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 96 期	第 97 期	第 98 期	第 99 期	第 100 期	第 101 期
1 万口当り分配金	60円	60円	60円	60円	60円	60円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

株式&通貨ツインαコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P / A S X 200 指数 (円換算)		豪ドル為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
72 期末(2019年 2月18日)	3,108	45	2.5	10,714	5.2	79.03	1.2	-	98.2	10,866
73 期末(2019年 3月18日)	3,142	45	2.5	10,913	1.9	79.08	0.1	-	98.9	10,602
74 期末(2019年 4月17日)	3,161	45	2.0	11,269	3.3	80.33	1.6	-	98.4	10,560
75 期末(2019年 5月17日)	3,047	45	△ 2.2	10,714	△ 4.9	75.76	△ 5.7	-	98.4	10,104
76 期末(2019年 6月17日)	3,014	45	0.4	10,946	2.2	74.73	△ 1.4	-	98.6	9,942
77 期末(2019年 7月17日)	3,026	45	1.9	11,281	3.1	76.01	1.7	-	98.4	9,964
78 期末(2019年 8月19日)	2,793	45	△ 6.2	10,328	△ 8.4	72.15	△ 5.1	-	98.5	9,146
79 期末(2019年 9月17日)	2,938	45	6.8	11,074	7.2	74.25	2.9	-	98.7	9,434
80 期末(2019年10月17日)	2,896	45	0.1	11,112	0.3	73.81	△ 0.6	-	99.3	9,099
81 期末(2019年11月18日)	2,918	30	1.8	11,266	1.4	74.20	0.5	-	98.7	9,024
82 期末(2019年12月17日)	2,943	30	1.9	11,527	2.3	75.30	1.5	-	98.5	8,844
83 期末(2020年 1月17日)	2,968	30	1.9	11,973	3.9	76.08	1.0	-	98.7	8,771
84 期末(2020年 2月17日)	2,878	30	△ 2.0	11,749	△ 1.9	73.73	△ 3.1	-	98.7	8,266
85 期末(2020年 3月17日)	1,828	30	△ 35.4	7,275	△ 38.1	65.08	△ 11.7	-	97.9	5,155
86 期末(2020年 4月17日)	1,927	30	7.1	8,319	14.4	68.73	5.6	-	99.5	5,322
87 期末(2020年 5月18日)	1,933	30	1.9	8,320	0.0	68.88	0.2	-	98.4	5,316
88 期末(2020年 6月17日)	2,087	30	9.5	9,807	17.9	73.85	7.2	-	98.5	5,659
89 期末(2020年 7月17日)	2,144	30	4.2	10,060	2.6	74.89	1.4	-	98.6	5,740
90 期末(2020年 8月17日)	2,192	30	3.6	10,483	4.2	76.57	2.2	-	98.6	5,700
91 期末(2020年 9月17日)	2,154	30	△ 0.4	10,171	△ 3.0	76.41	△ 0.2	-	98.5	5,556
92 期末(2020年10月19日)	2,139	30	0.7	10,327	1.5	74.81	△ 2.1	-	98.9	5,439
93 期末(2020年11月17日)	2,205	30	4.5	11,084	7.3	76.49	2.2	-	98.7	5,522
94 期末(2020年12月17日)	2,251	30	3.4	11,695	5.5	78.35	2.4	-	100.3	5,477
95 期末(2021年 1月18日)	2,267	30	2.0	11,985	2.5	79.86	1.9	-	99.7	5,391
96 期末(2021年 2月17日)	2,318	30	3.6	12,699	6.0	82.15	2.9	-	98.8	5,460
97 期末(2021年 3月17日)	2,309	30	0.9	12,879	1.4	84.41	2.8	-	98.6	5,380
98 期末(2021年 4月19日)	2,366	30	3.8	13,236	2.8	83.85	△ 0.7	-	98.6	5,460
99 期末(2021年 5月17日)	2,362	30	1.1	13,318	0.6	84.96	1.3	-	99.1	5,319
100 期末(2021年 6月17日)	2,403	30	3.0	13,918	4.5	84.32	△ 0.8	-	98.7	5,326
101 期末(2021年 7月19日)	2,332	30	△ 1.7	13,302	△ 4.4	81.00	△ 3.9	-	98.7	5,062

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

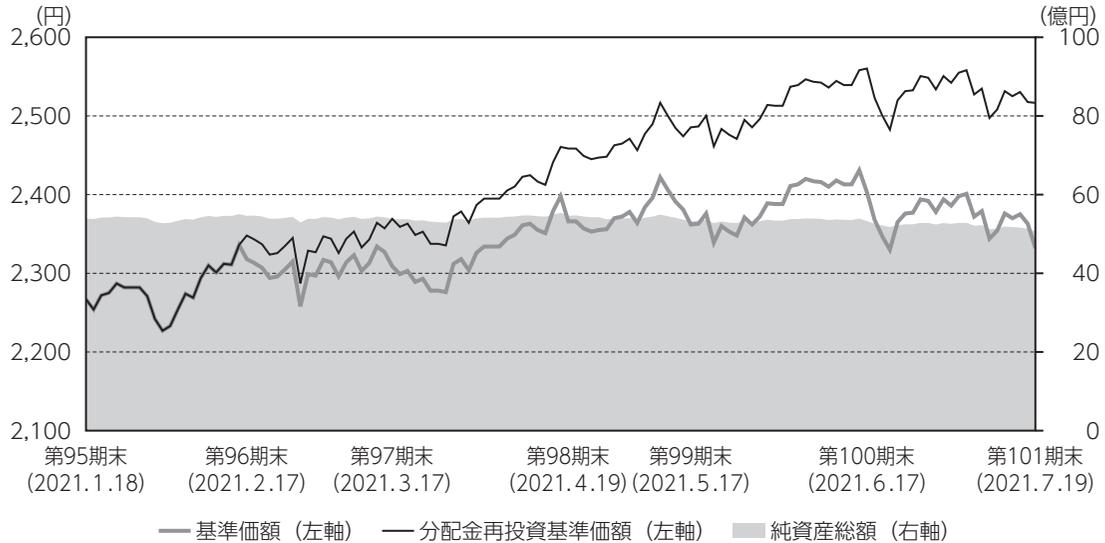
(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第96期首：2,267円

第101期末：2,332円（既払分配金180円）

騰落率：11.0%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

主にオーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）に投資した結果、オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）の上昇がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）については、オーストラリア株式への投資と株式および通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、株価が上昇したことや豪ドルが対円で上昇（円安）したことがプラスに働き、上昇しました。オプション取引については、株式オプション取引はマイナス要因となった一方で、通貨オプション取引の影響は軽微でした。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）

ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A	S X 200	豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	騰 落 率	指 数 (参考指数)	(円 換 算) 騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第 96 期	(期首)2021年1月18日	円 2,267	% -	11,985	% -	円 79.86	% -	% -	% 99.7
	1月末	2,242	△1.1	11,901	△0.7	80.08	0.3	-	99.0
	(期末)2021年2月17日	2,348	3.6	12,699	6.0	82.15	2.9	-	98.8
第 97 期	(期首)2021年2月17日	2,318	-	12,699	-	82.15	-	-	98.8
	2月末	2,315	△0.1	12,724	0.2	83.31	1.4	-	99.2
	(期末)2021年3月17日	2,339	0.9	12,879	1.4	84.41	2.8	-	98.6
第 98 期	(期首)2021年3月17日	2,309	-	12,879	-	84.41	-	-	98.6
	3月末	2,304	△0.2	12,704	△1.4	84.36	△0.1	-	99.1
	(期末)2021年4月19日	2,396	3.8	13,236	2.8	83.85	△0.7	-	98.6
第 99 期	(期首)2021年4月19日	2,366	-	13,236	-	83.85	-	-	98.6
	4月末	2,378	0.5	13,414	1.3	84.75	1.1	-	98.8
	(期末)2021年5月17日	2,392	1.1	13,318	0.6	84.96	1.3	-	99.1
第100期	(期首)2021年5月17日	2,362	-	13,318	-	84.96	-	-	99.1
	5月末	2,389	1.1	13,571	1.9	84.58	△0.4	-	99.6
	(期末)2021年6月17日	2,433	3.0	13,918	4.5	84.32	△0.8	-	98.7
第101期	(期首)2021年6月17日	2,403	-	13,918	-	84.32	-	-	98.7
	6月末	2,378	△1.0	13,563	△2.6	83.12	△1.4	-	99.3
	(期末)2021年7月19日	2,362	△1.7	13,302	△4.4	81.00	△3.9	-	98.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2021.1.19~2021.7.19)

■オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は上昇しました。

オーストラリア株式市況は、当作成期首から2021年5月上旬にかけて、米国における大規模な経済対策の発表や新型コロナウイルスのワクチン接種拡大を受けて世界景気の回復期待が高まったことなどを背景に、堅調に推移しました。5月中旬に入ると、世界的なインフレへの警戒感やアジア地域でのウイルスの感染再拡大などを受けていったんは弱含みましたが、オーストラリアの市場予想を上回る経済指標の発表や原油価格の上昇などが好感され、再び上昇基調となりました。

■為替相場

豪ドルは対円で上昇しました。

豪ドル対円為替相場は、当作成期首から2021年3月上旬にかけて、米国における追加経済対策や、新型コロナウイルスワクチンの普及によって世界経済の正常化期待が高まったことなどから、市場のリスク選好姿勢が強まり円豪ドル高が進みました。その後も、為替市場では米ドル安および円安基調が続きましたが、6月に入ると米国における早期利上げ観測の高まりを背景に相場の基調が反転し、米ドル高および円高となるとともに豪ドル安となりました。当作成期末にかけては、オーストラリア国内におけるウイルス感染者数の増加などが嫌気され、下落（円高）しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（ツイン α クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（ツイン α クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株 α ・ファンド（ツイン α クラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせた株式カバードコール戦略に加えて、通貨オプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤をもつ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2021.1.19~2021.7.19)

■当ファンド

オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）への投資割合を高位に維持しました。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせた株式カバードコール戦略に加えて、通貨オプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしました。

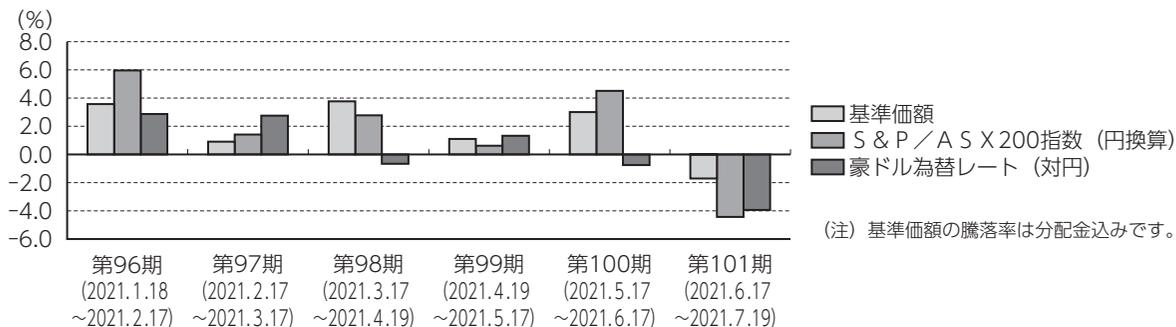
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しています。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
	2021年1月19日 ～2021年2月17日	2021年2月18日 ～2021年3月17日	2021年3月18日 ～2021年4月19日	2021年4月20日 ～2021年5月17日	2021年5月18日 ～2021年6月17日	2021年6月18日 ～2021年7月19日
当期分配金（税込み）（円）	30	30	30	30	30	30
対基準価額比率（％）	1.28	1.28	1.25	1.25	1.23	1.27
当期の収益（円）	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	265	273	282	291	301	309

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 37.53円	✓ 37.57円	✓ 39.22円	✓ 38.66円	✓ 39.86円	✓ 38.65円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	63.34	64.10	64.85	65.70	66.60	67.59
(d) 分配準備積立金	194.91	201.70	208.51	216.90	224.68	233.59
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	295.79	303.37	312.60	321.26	331.15	339.84
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	265.79	273.37	282.60	291.26	301.15	309.84

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（ツイン α クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（ツイン α クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株 α ・ファンド（ツイン α クラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせた株式カバードコール戦略に加えて、通貨オプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤をもつ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第96期～第101期 (2021.1.19～2021.7.19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	16円	0.670%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は2,342円です。
（投 信 会 社）	(5)	(0.218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(10)	(0.437)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(0)	(0.015)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	16	0.673	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

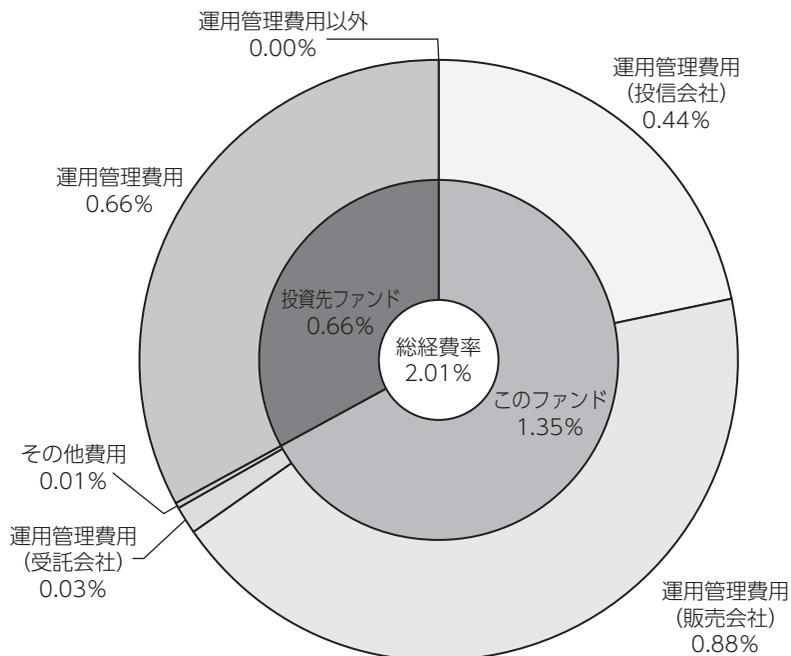
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.01%です。



総経費率 (①+②+③)	2.01%
①このファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.66%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2021年1月19日から2021年7月19日まで)

決算期	第 96 期 ~ 第 101 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	23,905,96211	556,444	42,083,93351	983,022

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2021年1月19日から2021年7月19日まで)

第 96 期				~	第 101 期			
買 付		売 付		買 付		売 付		
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	
	千口	千円	円		千口	千円	円	
				AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (TWIN ALPHA CLASS) (ケイマン諸島)	42,083.93351	983,022	23	

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファ ン ド 名	第 101 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (TWIN ALPHA CLASS)	千口 215,810.98564	千円 4,995,808	% 98.7

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 101 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 982	千口 982	千円 998

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年7月19日現在

項 目	第 101 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 4,995,808	% 96.6
ダイワ・マネー・マザーファンド	998	0.0
コール・ローン等、その他	173,325	3.4
投資信託財産総額	5,170,132	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年2月17日)、(2021年3月17日)、(2021年4月19日)、(2021年5月17日)、(2021年6月17日)、(2021年7月19日)現在

項目	第96期末	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末	第101期末
(A) 資産	5,550,120,958円	5,463,287,739円	5,551,074,018円	5,424,833,153円	5,410,566,546円	5,170,132,825円
コール・ローン等	156,238,355	157,745,175	164,784,316	150,610,441	149,909,880	173,325,792
投資信託受益証券(評価額)	5,392,883,880	5,304,543,841	5,385,291,077	5,273,224,087	5,259,658,139	4,995,808,506
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	998,723	998,723	998,625	998,625	998,527	998,527
(B) 負債	89,258,224	82,665,303	90,093,348	105,401,996	83,933,521	107,288,775
未払収益分配金	70,684,191	69,914,909	69,238,052	67,565,802	66,496,296	65,119,094
未払解約金	12,532,534	7,062,766	14,132,665	32,072,590	11,111,491	35,759,716
未払信託報酬	6,004,900	5,616,792	6,611,464	5,618,228	6,142,915	6,189,426
その他未払費用	36,599	70,836	111,167	145,376	182,819	220,539
(C) 純資産総額(A-B)	5,460,862,734	5,380,622,436	5,460,980,670	5,319,431,157	5,326,633,025	5,062,844,050
元本	23,561,397,170	23,304,969,953	23,079,350,899	22,521,934,324	22,165,432,170	21,706,364,875
次期繰越増益金	△18,100,534,436	△17,924,347,517	△17,618,370,229	△17,202,503,167	△16,838,799,145	△16,643,520,825
(D) 受益権総口数	23,561,397,170口	23,304,969,953口	23,079,350,899口	22,521,934,324口	22,165,432,170口	21,706,364,875口
1万口当り基準価額(C/D)	2,318円	2,309円	2,366円	2,362円	2,403円	2,332円

*第95期末における元本額は23,787,272,916円、当作成期間(第96期~第101期)中における追加設定元本額は524,721,883円、同解約元本額は2,605,629,924円です。

*第101期末の計算口数当りの純資産額は2,332円です。

*第101期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は16,643,520,825円です。

■損益の状況

第96期 自2021年1月19日 至2021年2月17日 第99期 自2021年4月20日 至2021年5月17日
 第97期 自2021年2月18日 至2021年3月17日 第100期 自2021年5月18日 至2021年6月17日
 第98期 自2021年3月18日 至2021年4月19日 第101期 自2021年6月18日 至2021年7月19日

項目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(A) 配当等収益	91,226,910円	93,209,251円	93,519,976円	92,723,177円	91,831,654円	90,122,420円
受取配当金	91,227,877	93,210,349	93,520,947	92,724,099	91,833,010	90,124,494
受取利息	5	1	2	2	2	5
支払利息	△ 972	△ 1,099	△ 973	△ 924	△ 1,358	△ 2,079
(B) 有価証券売買損益	105,790,226	△ 38,445,762	114,812,098	△ 29,171,549	72,204,945	△ 172,140,023
売買益	105,927,438	773,009	114,737,955	527,063	72,565,029	3,201,040
売買損	△ 137,212	△ 39,218,771	△ 74,143	△ 29,698,612	△ 360,084	△ 175,341,063
(C) 信託報酬等	△ 6,041,499	△ 5,651,029	△ 6,651,795	△ 5,652,471	△ 6,180,358	△ 6,227,146
(D) 当期増益金(A+B+C)	190,975,637	49,112,460	201,680,279	57,899,157	157,856,241	△ 88,244,749
(E) 前期繰越増益金	△10,513,060,400	△10,241,721,755	△10,126,523,282	△ 9,715,026,481	△ 9,533,265,319	△ 9,208,848,822
(F) 追加信託差損益金	△ 7,707,765,482	△ 7,661,823,313	△ 7,624,289,174	△ 7,477,810,041	△ 7,396,893,771	△ 7,281,308,160
(配当等相当額)	(149,260,083)	(149,389,097)	(149,690,180)	(147,979,894)	(147,624,271)	(146,731,773)
(売買損益相当額)	(△ 7,857,025,565)	(△ 7,811,212,410)	(△ 7,773,979,354)	(△ 7,625,789,935)	(△ 7,544,518,042)	(△ 7,428,039,933)
(G) 合計(D+E+F)	△18,029,850,245	△17,854,432,608	△17,549,132,177	△17,134,937,365	△16,772,302,849	△16,578,401,731
(H) 収益分配金	△ 70,684,191	△ 69,914,909	△ 69,238,052	△ 67,565,802	△ 66,496,296	△ 65,119,094
次期繰越増益金(G+H)	△18,100,534,436	△17,924,347,517	△17,618,370,229	△17,202,503,167	△16,838,799,145	△16,643,520,825
追加信託差損益金	△ 7,707,765,482	△ 7,661,823,313	△ 7,624,289,174	△ 7,477,810,041	△ 7,396,893,771	△ 7,281,308,160
(配当等相当額)	(149,260,083)	(149,389,097)	(149,690,180)	(147,979,894)	(147,624,271)	(146,731,773)
(売買損益相当額)	(△ 7,857,025,565)	(△ 7,811,212,410)	(△ 7,773,979,354)	(△ 7,625,789,935)	(△ 7,544,518,042)	(△ 7,428,039,933)
分配準備積立金	476,997,187	487,707,870	502,540,596	508,013,564	519,889,022	525,832,646
繰越増益金	△10,869,766,141	△10,750,232,074	△10,496,621,651	△10,232,706,690	△ 9,961,794,396	△ 9,888,045,311

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 96 期	第 97 期	第 98 期	第 99 期	第 100 期	第 101 期
(a) 経費控除後の配当等収益	88,429,687円	87,558,210円	90,533,977円	87,070,702円	88,371,855円	83,895,247円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	149,260,083	149,389,097	149,690,180	147,979,894	147,624,271	146,731,773
(d) 分配準備積立金	459,251,691	470,064,569	481,244,671	488,508,664	498,013,463	507,056,493
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	696,941,461	707,011,876	721,468,828	723,559,260	734,009,589	737,683,513
(f) 分配金	70,684,191	69,914,909	69,238,052	67,565,802	66,496,296	65,119,094
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	626,257,270	637,096,967	652,230,776	655,993,458	667,513,293	672,564,419
(h) 受益権総口数	23,561,397,170口	23,304,969,953口	23,079,350,899口	22,521,934,324口	22,165,432,170口	21,706,364,875口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 96 期	第 97 期	第 98 期	第 99 期	第 100 期	第 101 期
1 万口当り分配金	30円	30円	30円	30円	30円	30円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱーダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド
株式αクラス／通貨αクラス／ツインαクラス

当ファンド（ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型） 株式αコース／通貨αコース／株式&通貨ツインαコース）は、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱーダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド 株式αクラス／通貨αクラス／ツインαクラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2021年7月19日時点で入手しうる直近の決算分を掲載しております。

貸借対照表

2020年12月31日

		(円)
資産		
担保付スワップ投資（評価額）（簿価：¥13,674,541,332円）		6,208,604,718
未収利息		3,629,093
資産計		<u>6,212,233,811</u>
負債		
未払償還金		—
未払代行会社報酬		3,629,093
負債計		<u>3,629,093</u>
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産		<u>6,208,604,718</u>
帰属先別純資産	ツインαクラス受益証券	5,470,767,160
	通貨αクラス受益証券	596,217,939
	株式αクラス受益証券	<u>141,619,619</u>
発行済受益証券数	ツインαクラス受益証券	235,794,917.09
	通貨αクラス受益証券	11,621,057.32
	株式αクラス受益証券	<u>3,735,097.15</u>
受益証券一口当り純資産	ツインαクラス受益証券	23.201
	通貨αクラス受益証券	51.305
	株式αクラス受益証券	<u>37.916</u>

包括利益計算書

2020年12月31日終了年度

(円)

収入	
適正価値で損益通算後の金融商品純損益	
手数料収入	1,438,072,365
担保付スワップ投資純損益	(2,378,506,986)
投資純利益	(940,434,621)
収入計	(940,434,621)
営業費用	44,596,530
営業費用計	44,596,530
金融費用控除前営業損益	(985,031,151)
償還可能受益証券の保有者への分配金	(1,393,475,835)
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産変動額（分配金支払後）	(2,378,506,986)

当トラストが保有していた担保付スワップ投資

2020年12月31日時点

	簿価 (円)	評価額 (円)
ツインαクラス受益証券	12,613,715,973	5,470,767,160
通貨αクラス受益証券	804,026,163	596,217,939
株式αクラス受益証券	256,799,196	141,619,619
	13,674,541,332	6,208,604,718

<補足情報>

当ファンド（ダイワ・オーストラリア高配当株 α （毎月分配型） 株式 α コース／通貨 α コース／株式&通貨ツイン α コース）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2020年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第101期の決算日（2021年7月19日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2021年1月19日～2021年7月19日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2021年7月19日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第16期 (決算日 2020年12月9日)

(作成対象期間 2019年12月10日～2020年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

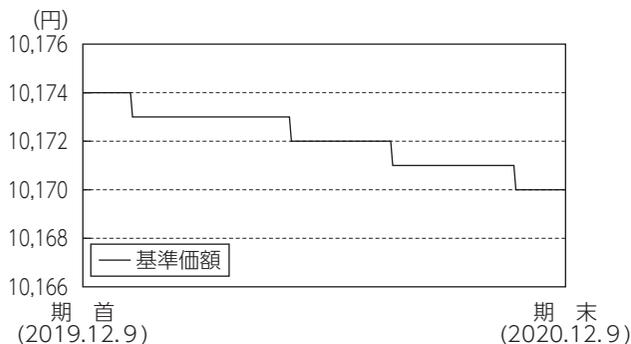
運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率		
(期首)2019年12月9日	円	%	%
12月末	10,174	—	—
2020年 1 月末	10,173	△0.0	—
2 月末	10,173	△0.0	—
3 月末	10,173	△0.0	—
4 月末	10,173	△0.0	—
5 月末	10,172	△0.0	—
6 月末	10,172	△0.0	—
7 月末	10,172	△0.0	—
8 月末	10,171	△0.0	—
9 月末	10,171	△0.0	—
10 月末	10,171	△0.0	—
11 月末	10,170	△0.0	—
(期末)2020年12月9日	10,170	△0.0	—

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,174円 期末：10,170円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
 (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

その他有価証券

(2019年12月10日から2020年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国内短期社債等	242,997,393	242,997,453 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

国内その他有価証券

	当 期 末	
	評 価 額	比 率
国内短期社債等	千円 999,970	% <1.5>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
 (注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	68,466,438	100.0
投資信託財産総額	68,466,438	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	68,466,438,583円
コール・ローン等	67,466,468,172
現先取引(その他有価証券)	999,970,411
(B) 負債	1,000,488,000
未払解約金	1,000,488,000
(C) 純資産総額(A - B)	67,465,950,583
元本	66,337,383,629
次期繰越損益金	1,128,566,954
(D) 受益権総口数	66,337,383,629口
1万口当り基準価額(C/D)	10,170円

* 期首における元本額は82,259,129,638円、当作成期間中における追加設定元本額は106,172,802,530円、同解約元本額は122,094,548,539円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ日経225-シフト11- 2019-03 (適格機関投資家専用) 531,632,690円、ゴールド・ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用) 4,718,749,101円、ダイワ・グローバル10T関連株ファンド -A I 新時代- (為替ヘッジあり) 977,694円、ダイワ・グローバル10T関連株ファンド -A I 新時代- (為替ヘッジなし) 977,694円、ダイワF Eグローバル・パリュエ (為替ヘッジあり) 9,608円、ダイワF Eグローバル・パリュエ (為替ヘッジなし) 9,608円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり) 49,107円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし) 49,107円、ダイワ/RICI[®] コモディティ・ファンド5,024,392円、US債券NB戦略ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,676円、US債券NB戦略ファンド (為替ヘッジなし/年1回決算型) 1,330円、スマート・アロケーション・Dガード99,008,902円、堅実バランスファンド -ハジメの歩- 569,302,583円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型) 180,729円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型) 737,649円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型) 95,276円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型) 337,885円、世界セレクトティブ株式オープン983円、世界セレクトティブ株式オープン (年2回決算型) 983円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/毎月分配型) 983円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/毎月分配型) 983円、D Cダイワ・マネー・ポートフォリオ4,455,466,034円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- ミドル・コース (毎月分配型) 12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株式ファンド -パラダイムシフト- 1,988,495円、ブルベア・マネー・ポートフォリオV 37,213,381,442円、ブル3倍日本株ポートフォリオV 12,502,578,661円、ペア2倍日本株ポートフォリオV 5,944,161,915円、ダイワF Eグローバル・パリュエ株ファンド (ダイワSM A専用) 3,666円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 155,317円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 38,024円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ミドル・コース (毎月分配型) 4,380円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型) 22,592円、ダイワ

ノアムディ食糧増産関連ファンド164,735円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ47,833,280円、ダイワ新興国ソプリン債券ファンド (資産成長コース) 33,689円、ダイワ新興国ソプリン債券ファンド (通貨αコース) 96,254円、ダイワ・ダブルバランス・ファンド (Dガード付) 部分為替ヘッジあり) 224,685,913円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジあり) 5,385円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジなし) 11,530円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) ミドルコース9,817円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 日本円コース6,964円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 通貨αコース9,479円、ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型) 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ979,761円、D Cスマート・アロケーション・Dガード11,929,087円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 両アフリカ・ランド・コース (毎月分配型) 1,097円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型) 2,690円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,350円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース98,202円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 98,174円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,170円です。

■損益の状況

当期 自2019年12月10日 至2020年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 26,744,855円
受取利息	309,257
支払利息	△ 27,054,112
(B) その他費用	△ 610,483
(C) 当期損益金(A + B)	△ 27,355,338
(D) 前期繰越損益金	1,431,737,066
(E) 解約差損益金	△2,104,683,137
(F) 追加信託差損益金	1,828,868,363
(G) 合計(C + D + E + F)	1,128,566,954
次期繰越損益金(G)	1,128,566,954

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。